

入間市公共施設マネジメント事業計画  
学校統合地区検討会議（西武地区）報告書

令和3(2021)年4月

入間市総務部公共施設マネジメント推進課

## 1 はじめに

入間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（以下「検討会議」という。）は、「入間市公共施設マネジメント事業計画」（以下「事業計画」という。）による学校の統合を行うにあたり、当該計画が地域に与える影響及び課題について地域住民の意見を聴取することを目的に設置したものです。

西武地区においては、令和元(2019)年7月25日(木)に開催した第1回会議において委員21名に委嘱状を交付し、以降10回にわたり会議を開催しました。

検討会議は、市が設定した課題と委員から提示いただいた課題の双方を合わせてテーマを設定し、地域の人口の動態、生徒数の見込み、地理的な特性などについて委員と市で情報を共有した上で、西武地区の中学校の統合に向けた諸問題に関し、課題の抽出や対応の方向性についての意見交換を行いました。

検討会議委員の氏名及び選出区分（任期：令和元年7月25日(木)～令和3年3月31日(水)）

岩崎 秋親	中学校のPTA
佐藤 秀忠（副会長）	入間市青少年健全育成推進会
島根 雄樹	小学校のPTA
清水 正二	区又は自治会
鈴木 憲之	保育所又は幼稚園等の保護者
關山 啓二	中学校のPTA
染谷 英俊	中学校のPTA
高橋 和久	公募
田中 崇司	小学校のPTA
築地 芳枝	入間市民生委員・児童委員協議会
中島 克巳	狭山地方交通安全協会
長澤 ゆかり	公募
幡野 敏彦	中学校のPTA
樋口 秀男	狭山地方交通安全協会
平岡 武	区又は自治会
平岡 芳太郎	入間市民生委員・児童委員協議会
不破 誠	小学校のPTA
峰崎 玲子	保育所又は幼稚園等の保護者
宮西 瞳	保育所又は幼稚園等の保護者
横山 勝典	小学校のPTA
吉田 賢紀（会長）	入間市青少年健全育成推進会

## 2 会議の経過

西武地区の検討会議は、令和元(2019)年7月25日(木)から令和3(2021)年3月29日(月)までの期間に会議を10回開催(内書面会議1回)しました。

### 第1回会議

日時	会場	出席委員	傍聴者数
令和元(2019)年7月25日(木) 19:00～21:00	西武公民館 2階 大会議室	21 / 21名	8名

○委嘱状交付

○検討会議の設置目的

検討会議の目的、設置期間などについて確認しました。

○会長・副会長選出

[議事の概要]

(1)公共施設マネジメント事業計画の概要について

公共施設マネジメント事業計画を策定した経緯、計画の概要について質疑を行いました。

(2)検討会議のスケジュール、検討の進め方について

検討会議のスケジュール、検討課題の設定、会議の進行の方法、意見の取り扱いなどを確認しました。

### 第2回会議

日時	会場	出席委員数	傍聴者数
令和元(2019)年9月19日(木) 19:00～21:15	西武公民館 2階 大会議室	18 / 21名	13名

[議事の概要]

(1)各種データの確認

地区の人口の動向、生徒数の推移、学校の現状などのデータを基に質疑を行い、学校の状況に関する情報を共有しました。

[主な意見]

- ・限られた予算で子どもたちの未来を盛り上げるのであれば、全国的なモデルケースとなるように取り組んでいくべきではないか。
- ・国道299号から中橋に至る道の歩道は、自転車の通行は不可である。昔と道路事情が違うので、西武中学校までの道路の状況を良く確認すべきである。
- ・越境通学の状況などを良く把握した方が良い。自転車通学や公共交通機関の利用についての基準は教育委員会で定めるべきではないか。
- ・西武中学校の南側斜面は、今後、土砂災害警戒区域に指定される可能性があると考えられる。
- ・土砂災害警戒区域は大雨などによる土砂災害のみを想定したもので、地震による土砂災害は考慮されていないと聞いたことがある。大雨が降り地盤が緩んでいる時に地震が起こった場合でも安全といえるのか心配である。

(2)公共施設マネジメント学校統合地区検討会議における検討事項について

委員が提示した検討課題に対する意見を紹介し、意見交換のテーマ設定に反映していくことを説明しました。

### 第3回会議

日時	会場	出席委員数	傍聴者数
令和元(2019)年10月24日(木) 19:00～21:10	西武公民館 2階 大会議室	16 / 21名	8名

#### [議事の概要]

##### (1)西武地区学校統合地区検討会議について

検討課題に対する委員の意見を整理し、意見交換のテーマとして設定しました。

##### (2)「統合の理由」に関する事項について

生徒の学校生活の現状、部活動の設置状況、統合場所として西武中学校を選択した理由などについて質疑と意見交換を行いました。

#### [主な意見]

- ・現在の生徒の環境を10年間このままにして良いのか、西武中学校を工事している間の生徒の安全確保、統合の仕方や進め方、生徒の負担軽減、部活動や学校の跡地活用などを気にしている方が多いと感じた。
- ・まちづくりの方向性と学校の統合について良く整理する必要がある。
- ・西武中学校を統合先として選択した理由について、本当に生徒のことを最優先で考えているのか。通学の安全性を優先すべきであるにもかかわらず避難所や利便性を理由としていることについて納得がいかない。
- ・西武中学校は避難所となっているが、土砂災害を心配している方が多いことを踏まえて検証してほしい。
- ・原案の通りの統合時期であれば、部活の選択肢が増えることなどが早く実現でき、子どもたちにとって良いことだと考えていたが、計画では10年後となった。今後の10年間の子どもたちのことをどう考えているのか。本当に子どもたちのことを考えているのか。
- ・統合自体に反対している保護者は少ない。統合するのは構わないが、どちらに統合されるのか、今いる子どもたちはどうなるのかということ心配されている。
- ・仏子小学校に通う子に西武小学校に統合されるのはどうかと聞いたことがあるが、幼稚園や保育園の友達と会えるなら良いと子どもながらに言っていた。
- ・災害の時は野田中学校だけが避難場所ではない。武蔵野音楽大学、あんず幼稚園、図書館西武分館もあるなど、色々な災害拠点を検討すれば避難場所はもっと確保されると思う。市として協力体制を構築していけばいいと思う。

##### (3)「通学上の課題」に関する事項について

通学手段及び通学路の決定までの過程や地区内の交通危険箇所を確認しました。

#### [主な意見]

- ・自転車通学について、西武中学校しかなかった時代は国道299号より北側の新光地区の生徒が自転車通学で、仏子・野田の生徒は自転車通学ではなかった。
- ・40年以上道幅が変わっていない場所に対し、この10年で対策が打てるか疑問である。
- ・当時は今のような安全対策は無くとも通えていたが、昔に比べて無謀な運転をする人もいるし不審者も多いことを考えると、スクールバスを通す検討などが必要ではないか。また、路線バスの活用も検討が必要である。
- ・通学上の課題で気になることは踏切である。仏子駅付近に跨線橋があるが自転車を押して渡ることができれば行き来がしやすいと思う。
- ・自転車通学が認められたとしても、大荷物の時や悪天候の時、帰りが遅くなってしまったときなどに民間のバスをフリーバスで使わせてもらえると良いと思う。
- ・スクールゾーンについて、中学校は設定の対象とならないとのことだが、小学生の通学路を合わせて考える事で良い対応が考えられるのではないか。

## 第4回会議

日 時	会 場	出席委員数	傍聴者数
令和元(2019)年12月12日(木) 19:00～21:00	西武公民館 2階 大会議室	20 / 21名	8名

### 〔議事の概要〕

#### (1) 「統合の理由」に関することについて

学校の整備にかかる事業費や学校の運営にかかる経費について質疑を行いました。

#### (2) 「通学上の課題」に関することについて

各委員が提出した交通危険箇所に関する情報を整理し、共有しました。

### 〔主な意見〕

- ・学校を統合すると1時間以上歩く生徒も発生する。帰宅が遅くなった時などが心配である。バスや電車など公共交通機関を利用するとした場合は費用を比較しなければならない。必要な予算も踏まえて比較検討する必要がある。
- ・通学路の課題として意見交換を進めているが、現在でも問題となっていることと、統合したから新たに問題となることは違う。防犯灯をつけることなどは現在でもやらなくてはならないことである。

#### (3) その他

##### ①西武中央保育所保護者のアンケート紹介

委員が実施した保育所保護者を対象としたアンケートの集計結果を紹介いただきました。

##### ②会議の進め方について整理

委員の発議により、意見交換を深めていくため、これまでの会議の進行状況を整理し、中学校統合に対する各委員の意見を確認しました。

### 〔主な意見〕

- ・統合に賛成である。子どもたちには多くの人の中で様々な刺激を受けて育ってほしい。
- ・統合は良いが、災害時の安全面を考えると野田中学校が地震にも大雨にも安全であると考えている。西武中学校を建て替えるのであれば、全面的に壊して最新の設備を導入した素晴らしい中学校にしていきたい。
- ・市の計画策定に至る過程に納得ができないが統合は賛成である。
- ・統合してもらいたい。子どもの数が少なくなる中で、部活の選択がなく、越境通学があるのが現状である。そういう選択を向こう10年間させるのは反対である。
- ・統合に賛成だが、10年先では不確定要素が多い。現在の計画の実効性を確認したい。
- ・どういう学校整備が行われるのか示されないうちは統合に反対である。通学の安全対策も示されない。子どもたちのためにどのようなことができるのかが示されない間はそのまま良いと思う。
- ・統合に賛成であるがポジティブな賛成ではない。致し方なしという感じである。
- ・ただ統合に反対といっているのではなく、整備の内容や事業費について示してもらえれば議論ができる。
- ・統合は経済的合理性があり、その予算が教育のコンテンツの充実、より良い教育に結び付くことに期待している。統合した後の絵がどうなっていくのかということは、後から詰めていけばよいのではないか。

### 〔意見交換により整理した視点〕

- ・様々な考えがあるが、生徒数の減少により教育機会が損なわれている課題への対応が重要である。

### 〔検討会議として集約した意見〕

- ・生徒の教育環境を向上させるため、中学校の統合は必要である。

## 第5回会議

日 時	会 場	出席委員数	傍聴者数
令和2(2020)年2月6日(木) 19:00～21:10	西武公民館 2階 大会議室	15 / 21名	11名

### 〔議事の概要〕

#### (1) 「統合の理由」に関することについて

学校の整備にかかる事業費や学校の資産価値について質疑を行いました。

#### (2) 「新たな学校のイメージ」に関することについて

将来の学校施設について主にハード面で想定する内容について意見交換を行いました。

#### 〔主な意見〕

- ・床暖房は光熱費の節約になると聞いている。新しい学校の整備の際に検討してもらいたい。
- ・プールは消防水利に位置付けられており、近隣の人も水源が身近にあった方が安心だと思う。プールを廃止するときは十分な配慮が必要である。
- ・具体的な設計などに取り組む段階においても市民の意見聴取の機会を設けていただきたい。
- ・新しく学校を整備する際には学校に防災倉庫を設けることも検討いただきたい。

#### (3) 「通学上の課題」に関することについて

現状における西武中学校と野田中学校の通学路を基に、通学路の課題について意見交換を行いました。

#### 〔主な意見〕

- ・西武中学校の通学路について、中橋から南に進む道は路側帯が無く踏切の手前はとても狭い。金子坂から武蔵野音大の所は歩道が切れている。こうしたところは危険である。
- ・西武中学校側の通学路について、通って良い部分が多いと感じた。安全な道を良く絞り込んだ方が良いと思う。学校を統合するにあたっては通学路の指定を精査した方が良い。
- ・統廃合に関わらず道路の危険箇所はぜひ安全にしていきたい。

#### (4) 「統合時の課題」に関することについて

統合の進め方についての意見交換とするため、テーマを整理しました。

#### 〔主な意見〕

- ・市の計画に対し、「野田中学校の校舎はまだ使えるので活用できないか」「西武中学校に生徒を通わせながら建替えを行うことは危険ではないか」「10年後まで西武中学校の生徒が少ないことにより生じている教育活動や部活動の問題をそのままにして良いのか」という意見がある。これらの課題に対応するため、「なるべく早い段階で野田中学校に統合し、その間に西武中学校を建替え、新しい校舎が出来た段階で西武中学校に移転する」という考えについて意見交換がしたい。
- ・一旦、野田中学校に統合する意見に賛成である。市の計画に沿って西武中学校への統合に向けて知恵を出し合っていきたい。
- ・教育上のことでより良いアイデアが出るのであればどちらの学校に統合しても良いと思う。西武中学校を運営しながら建て替えることは技術的に問題ない。生徒に迷惑をかけることも極力少なくできる。一旦、野田中学校に通学することも良いと思うが、西武中学校を使いながら建て替えることも問題はないと思う。
- ・一旦、野田中学校に統合し、その間に西武中学校の取り壊しと建設を行い西武中学校が完成後に移転する方が良い。こうすることで、先生・生徒の安全確保、静かな授業環境を用意できる。また、施設の耐用年数、資産価値からみても合理的判断と思う。

⇒統合の進め方について意見交換を深めるため、「統合する時期（令和11(2029)年度）」、「西武中学校を居ながらで建替えること」について意見交換を進めることとしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるため、4月23日(木)、6月25日(木)に開催を予定していた会議を延期しました。

この間に、第5回会議の際に意見交換のテーマとして設定した、「統合時期（令和11(2029)年度）」と「西武中学校を居ながらで建替えること」についての意見書を提出いただきました。

- ・「統合時期（令和11(2029)年度）」については、14件の意見をいただきました。
- ・「西武中学校を居ながらで建替えること」については、13件の意見をいただきました。

## 第6回会議

日時	会場	出席委員数	傍聴者数
令和2(2020)年8月6日(木) 19:00～20:30	西武公民館 2階 大会議室	16 / 21名	13名

### 〔議事の概要〕

#### (1)「統合時の課題」に関することについて

学校を運営しながら建替え工事を実施した事例を基に、工事中の状況などについて質疑を行いました。

#### (2)その他

##### ①統合時の課題についての資料（委員提供資料）

委員から西武中学校南側斜面及び通学路についての課題が提示されました。

##### 〔主な意見〕

- ・土砂災害警戒区域に指定されていないからといって土砂災害が発生しないとは言い切れない。これまでの常識は通用しない。
- ・斜面が心配である。斜面を補強するので西武中学校を統合場所とするというのであれば良いが、こうした対策が計画に示されていないことに懸念がある。
- ・学校の場所の安全性を判断する際に、土砂災害警戒区域ではないことを基準としたことは理解ができるが、それだけでは説明が不足していると思う。西武中学校は危険だと思わないが、心配であるとの意見もあるので、安心ができるよう、この場所の詳しい状況や県、市の検証状況を詳しく確認したい。

##### ②意見書の確認

委員が提出した意見書の集計結果を確認しました。

##### 〔主な意見〕

- ・西武中学校に通学する生徒の保護者からは「生徒が少なくなっているので早めに統合してほしい」との意見がある。前回にも、統合の時期を早めて一度野田中学校に統合し、その間に西武中学校の建替え工事ができれば良いと思うと意見を述べた。
- ・委員は各団体などから選出されている。団体の総会などで意見集約をする必要があるのではないか。
- ・意見集約のような取り組みは良いと思うが、様々な団体がバラバラな視点で行っても意味がないと思う。意見集約を行うのであれば、ある程度の方向性を示した上で、住民、保護者、生徒に意見を求める必要がある。
- ・いろいろな立場での考えはあるが、西武中学校に統合するというロードマップに向け、どのようにしたら子どもたちが良い環境で学校生活を送れるかということを検討していくものと考えている。

## 第7回会議

日 時	会 場	出席委員数	傍聴者数
令和2(2020)年9月30日(水) 19:00～20:45	西武公民館 2階 大会議室	15 / 21名	7名

### 〔議事の概要〕

#### (1) 「防災対策」に関することについて

土砂災害警戒区域に関する法令や規程について質疑を行い、西武中学校南側斜面が土砂災害警戒区域に指定されていない理由を確認しました。

#### 〔主な意見〕

- ・土砂災害警戒区域に指定されていないところ、あるいは斜度が浅いところでも土砂災害が発生している。数十年に1度といわれた降水量が近年は2年に1度出現している。そうした事態を想定して対策を考えていくべきではないか。
- ・学校に対しては災害が絶対に起きないようにする必要がある。
- ・様々なデータにより、西武中学校南側斜面が土砂災害警戒区域に指定されていない状況が納得できた。
- ・土砂災害警戒区域に関しては様々な認識がある中で、西武中学校南側斜面の地形や関係法令の規定などについての質疑を通して土砂災害警戒区域に指定されていない状況を確認できたと思う。

#### (2) 「統合時の課題」に関することについて

第5回会議、第6回会議に続き「統合する時期」について意見交換を行いました。

#### 〔主な意見〕

- ・様々な意見を持っている人が沢山いることから、統合は10年後が良いと考える。
- ・なるべく早く多く的人数で授業や部活をさせてあげたいとの意見を良く聞く。まず統合すべきではないか。
- ・学校は勉強をするだけでなく多くの人と触れ合うことが大事であると考え。生徒たちのことを考えると統合は一刻も早くするべきだと思う。一番優先すべきは生徒たちのことである。その中で通学手段、通学路の問題、災害時の安全確保などの意見はあったが、後から対策を打てるものに関してはその時に対応すれば良いのではないか。
- ・地区の説明会などで、原案で示した3年後では早すぎるから先に延ばしたのではなかったか、その間に通学路など統合についての問題に対応して行こうというのが皆さんの意見ではなかったか。こうした経緯を考えると令和11(2029)年度の統合は理想だと思う。
- ・かつては令和11(2029)年度の統合は決して遅くはないと感じていたが、様々な状況を考えると統合を早めなくて良いのかと考えるようになった。こうした計画を突然聞くと驚いてしまう人が沢山いると思う。お知らせのタイミングと進め方が大事である。
- ・西武中学校が野田中学校と一緒にできれば子どもたちの活動が活発になると思うので、早めの統合が良いと思う。仮住まいとして野田中学校に統合し、西武中の工事を進めて完成したら西武中に移転する考えは良いと思う。
- ・生徒たちの学校生活を最優先に考えるべきではないかと思う。
- ・今まで検討してきた皆さんの意見をまとめて考えると、安全など色々な面があるから統合まで期間を設けた方が良いという話だったが、その辺が解消されるのであれば一日でも早く統合したほうが子どもたちのためになると思う。

#### 〔意見交換により整理した視点〕

- ・生徒たちの教育環境の向上をなるべく早く実現させることが大切である。

#### 〔検討会議として集約した意見〕

- ・中学校の統合は、市の計画による令和11(2029)年度よりも時期が早められると良い。



## 第8回会議

日 時	会 場	出席委員数	傍聴者数
令和2(2020)年1月11日(水) 19:05～20:50	西武公民館 2階 大会議室	16 / 21名	11名

### 〔議事の概要〕

#### (1) 「新たな学校のイメージ」に関することについて

新しい学習指導要領と近年に整備した中学校の他市事例の紹介を行いました。

#### (2) 「統合時の課題」に関することについて

西武中学校を運営しながら建替える計画と野田中学校に一時移転する案のスケジュールのイメージを確認し、想定する工事内容やそれぞれの方法のメリット・デメリットなどを踏まえて意見交換を行いました。

### 〔主な意見〕

- ・現在は大人たちで知恵を出し合っているが、今後は子どもたちの声にも耳を傾けられれば良いと思う。
- ・備品などは引越し費用より買った方が安いというものも出てくるのではないかと。
- ・学校の備品を利用するのであれば、学校指定の自転車を買って通学に使う生徒が使いまわしていけばよいと思う。
- ・居ながら施工と一時移転のメリット・デメリットを比較すると、プロジェクトを進めるなどの運営上は市や教育委員会の負担となるが、そもそも公共施設マネジメントの出発点である「学校の統合」「ランニングコストを抑える」という方向から考えると一時移転の方がメリットがあると思う。
- ・統合を行う際の引越しについて、保護者や有志が参加することでコストを抑えることができるのであれば、その分のコストを他にかけることができる。時期が来れば西武中学校と野田中学校で必要な物と不要な物の物量が把握できると思うので、保護者が協力すれば費用を抑えることができるということを具体的に提示いただければ協力する方が多いと思う。前向きに検討いただきたい。
- ・統合を行う時期について、中学生にとっては受験が一番大きな問題であるので、引越しは受験が終わってからのほうが良い。
- ・受験生のことを考えると、年度途中で引越しすることが無いようにしてほしいと願う。
- ・令和11(2029)年度以降に野田中学校がどのようになるのかが分からない。今後の説明会などの際に具体的なところを示していただきたい。
- ・跡地の活用については、公共施設マネジメント事業計画の本来の目的に合致しているかどうかをきちんと検討していただきたい。
- ・地域の防災を考えた場合、災害があった時に避難所が無いと困るという意見が多い。この点の議論はしっかり行いたい。
- ・防災のことは意見を聞くというのではなく、きちんと検討しなければならない。学校を統合します、地区体育館がありますではダメだと思う。西武地区は特に水害に関してはしっかり検討していかなければならない。
- ・一時移転案に賛成である。スケジュールのイメージでは、同じ生徒が2度引越しをすることは無いのではないかと。出来る限り生徒の負担を減らしてあげたい。メリット・デメリットに関して、更地にして建替えるので施設整備がしっかりとできると思う。引越し費用がかかるが地域住民として関わりたいと思う。是非検討していただきたい。

⇒「西武中学校を運営しながら建替える計画」と「野田中学校に一時移転する案」について、検討会議としての考えを整理することとしました。

## 第9回会議（書面会議）

日 時	会 場	出席委員数	傍聴者数
令和3（2021）年3月23日（火） （会議結果成案成立日）	書面会議	— / — 名	— 名

- ・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言のため、会議形式での開催を取り止め書面のやり取りにより会議を実施することとし、委員から意見書を提出いただきました。

### 〔概要〕

#### (1) 「通学上の課題」に関することについて

通学手段に対する考え方や通学路の危険箇所・安全確保の上での課題などについて意見を伺いました。

#### 〔主な意見〕

##### ①通学手段に関すること

- ・学校の統廃合が進む中で、交通手段は多岐にわたることになると考える。自転車通学や公共交通機関（バスや電車）を利用したり、今後は通学用のバスを利用したりといった検討も進むと考える。現在は、通学手段の選択は全て学校長の判断となっているが、校長一人の判断に任せず、市や教育委員会が明確な基準を持つべきであると考えている。公共交通機関を利用する場合には費用負担をどうするかなどの議論も必要である。保護者に負担を求めるまち、教育格差が生まれてしまうような地域にはそもそも人は住まない。
- ・自転車ルートは良いと思う。
- ・かつては自転車通学が認められた範囲は国道299号以北であり、他は徒歩であったため、徒歩の方が遠くなる人もいた。自転車通学とする場合は、道路を基準とするのではなく距離を基準に考える方が良い。
- ・バスの利用についての案が示されているが、バスは不要ではないかと考える。
- ・以前に提案した3ルート（上橋ルート、中橋ルート、バイパスルート）を一度検討していただきたい。通学手段としては、自転車・バス・電車を選択肢としてほしい。
- ・新光の生徒はバス通学を使用可能に。
- ・新光の生徒が自転車通学するときは新豊水橋を活用できるように。
- ・国道299号バイパスを自転車で通学するルートは現実的でないと考えている。
- ・新光の北の方から西武小学校まで小学生が歩いていることを踏まえると、中学生に対して配慮があるかどうか考える必要がある。

##### ②通学上の危険箇所に関すること

- ・野田中学校ができる前に全生徒が西武中学校に通学していた時代も入間川にかかる上橋・中橋を利用していた。今後も上橋・中橋を中心に生徒は通学すると思う。現在は交通量も増え、通学の時間帯には歩道のない細い抜け道にも車が通る。西武中学校に通うには西武線と県道富岡入間線を渡ることになり危険を感じる。可能な箇所から歩道の設備が急務であると思う。
- ・大型スーパーの近くは車で出入りが激しく、雨の日や夕方には特に危険を感じる。歩車分離を願うと同時に歩道の高さも工夫してほしい。
- ・両校への通学で ①中橋～中橋北交差点 ②上橋～元加治幼稚園前信号 は歩道が狭く、特に②は通勤車両の抜け道になっているため、リスクが高い。①は逆走自転車に対し、警察も含め注意喚起をする事でリスク低減になると思う。
- ・元加治幼稚園前～市道G272号線～市道幹47号線～中橋北交差点は、7:00～8:30は車の渋滞が激しい。特に中橋北交差点の信号が新しくなり住民から危険だと言われている。

- ・中橋ルートは、特に国道299号の交差点から中橋までが歩道が狭く、現状は自転車と共存している状況となっている。
- ・農協から進んだところと上原歯科医院のところの踏切は避けた方が良い。
- ・中橋通りに対する意見が多く、住民の方々も心配していると思う。
- ・踏切については入間市の地域全体に係ることだが、歩行者、自転車の通行において欠陥だと思う。早急な改善を望む。

### ③通学の安全確保に向けて

- ・交通安全の確保については、安全意識の啓発が大切である。
- ・通学時の事故がなぜ起きるのか、原因を追究し、安全対策を講じる必要がある。
- ・歩道については、将来の小学校統合も見据えて適時整備を進め、ミラーの増設や防犯カメラの設置などについても関係各所との連携を求める。
- ・ハード面の整備も大切であるが、道路事情の改善は早急には望めない。交通安全の指導を徹底するほうが効果的である。
- ・現在の野田中学校、西武中学校、西武小学校、仏子小学校の通学路を再点検していただき、その結果を参考に通学路を見直すことも必要だと思う。
- ・安全の確保は、事前議論より試験的に運用しながら生徒も交えてどのように安全を確保すべきか継続議論が必要である。(小学校児童の通学は別途議論が必要)

### (2)「統合時の課題」に関することについて

西武中学校を運営しながら建替える計画と野田中学校に一時移転する案について、検討会議としての方向性の取りまとめに向けた意見をいただいた。

#### [主な意見]

- ・西武中学校の居ながら施工案を考えていたが、第8回会議では野田中学校への一時移転案の発言が多く感じた。
- ・一時移転をしての建替えの方が良い。西武中の生徒数の減少による教育活動の不活発化の軽減や解消、工事中の安全確保、校舎の設計の自由度が広がる、居ながら工事による仮設施設費の削減、早めに統合することでランニングコストの軽減などに繋げることができる。
- ・現在の西武中学校の生徒数が少ない状態で通学路の実際が把握でき、更なる具体的な改善策につなげられる。
- ・早期に統合後、4年間生活する予定なので、2回引っ越しを経験する生徒はいない。
- ・いつの時代の生徒のことを重視するかによって進め方が異なると考える。10年先の生徒の環境向上ということであれば市の計画通りが良いと考えるが、現在の小学校高学年の生徒の環境向上も含めて考えるのであれば統合時期は早い方が望ましいため、一旦野田中学校に統合することが良いと考える。
- ・早く統合し、西武中の人数の少なさを解消し、同時に建替えの安全性も確保できると思う。
- ・正式な見積もりが出たわけではないが、野田中一時移転の方が費用も少なくなりそうと聞いている。
- ・武蔵中学校の工事施工例などを参考に、工事期間中の通学トラブル、事故、授業、部活動などに影響を無くし、通常どおりの学校運営を確保するため、居ながら施工を望む。
- ・財政上の問題(学校運営と整備費コストの抑制)、教育側面(充実した学校生活)を考慮すると、両校の統合を早め、西武中の工事中に野田中に移転統合するのが最も合理的と考える。

## 第10回会議

日時	会場	出席委員数	傍聴者数
令和3(2021)年3月29日(月) 19:00~20:30	西武公民館 2階 大会議室	14 / 21名	9名

### 〔議事の概要〕

#### (1) 「通学上の課題」に関することについて

第9回会議の際にいただいた意見書を基に、質疑を行いました。

#### 〔主な意見〕

- ・安全確保の上で100%ということは難しいと考えることから、行政、警察、学校、地域が協力して通学の安全を確保していただきたいというのが委員の共通認識であると思う。
- ・検討会議で示した課題について、市の回答はないのか。
- ・市は予算や整備の計画など様々なことを話し合ってからでないと発表できないのではないのか。この検討会議で委員と市で情報を共有して、同じ方向を向くことができたことが成果だと思う。
- ・検討会議で様々な意見が出たので、公共施設マネジメントを進めていく中で継続的に検討してほしいということを伝えるのが検討会議の役割だと思う。
- ・「通学上の課題」は、検討会議で多くの時間をかけて意見交換を進めたテーマであった。今後、具体的な検討を進める中で最重要事項として話し合してほしい。

#### (2) 「統合時の課題」に関することについて

統合の進め方について、検討会議として意見の集約を行いました。また、これまでの検討会議の意見交換の内容を文書にまとめ、市に提出することを確認しました。

#### 〔主な意見〕

- ・多くの委員が一時移転案に賛成していると受け止めている。
- ・一時移転案に賛成である。可能かどうか疑問に感じるところもあるが、子どもたちのために可能なことは取り組んであげたいと思う。
- ・学校の統合に向けた取り組みが進められていることを知らない人が多いのではないかと、こうしたことを住民に知らせていくところで大きな壁があると思う。学校の統合を住民にお知らせをする期間を持つ上でも野田中学校に一時移転をする方が良いと思う。
- ・検討会議でどのような話し合いが行われているのか、ということを市はもっと積極的に住民に対して説明をする必要があるのではないかと。市は西武地区で説明会を開催してもらいたい。
- ・一時的に野田中学校に統合するとした場合、西武中学校を建替えるということは分かるが、野田中学校はもう少し長く使えるのではないかとという考えもある。その際に、優先順位でいうと西武中学校ではなく西武小学校の建替えが先ではないかとという考えもある。
- ・第9回会議の各委員の意見書やこれまでの検討会議の意見交換を踏まえて、検討会議として意見を取りまとめた書面を作成してみた。内容や表現について各委員の意見をいただき修正した上で成案とし、検討会議の成果として市長に提出したいと考えている。

⇒市で作成する議事録とは別に検討会議として意見交換を行った内容を文書にまとめ、検討会議の成果として市に提出することとしました。

### 3 統合に向けた課題・配慮が求められる事項

検討会議においては、「生徒数の減少により教育機会が損なわれている課題に対応し、教育環境を向上させるためには、中学校の統合は必要である。」ということ委員の共通認識とした上で、事業計画が地域に及ぼす影響や課題について意見交換を行いました。

各委員からいただいた様々な意見を、統合に向けた課題や配慮が求められる事項として以下に整理します。

#### (1) 事業計画の課題

##### ① 統合する時期（令和11(2029)年度）について

統合に向けては様々な課題があるが、生徒数の減少により生じている教育活動や部活動が制限されている状況の改善が重要な課題であり、なるべく速やかな対応が求められる。

〔課題〕

- ・教育環境の向上の早期実現

##### ② 西武中学校を運営しながら建替えを行うことについて

工事中の生徒・教職員の安全確保や学校生活が受ける制約などの面で様々な懸念がある。また、施工性が悪く費用や工期の面で不利と見込まれる。

〔課題〕

- ・工事中の安全や学習環境の確保
- ・事業費の縮減

#### 【対応の方向性についての検討会議の意見】

西武中学校と野田中学校の統合は、第一段階として野田中学校を活用して可能な限り早期に統合し、第二段階として西武中学校を建替えた後に移転する方法が望ましい。

#### (2) 中学校の統合に向けた課題・配慮が求められる事項

##### ① 通学に関することについて

学校の統合に向けて、通学路の安全確保は重要であり、将来的にも継続的な検討が必要である。また、通学距離が長くなる生徒の負担軽減について検討が必要である。

〔課題〕

- ・通学路の危険箇所に対するハード・ソフト両面からの安全対策
- ・通学路の精査及び安全な通学路の設定
- ・自転車通学や公共交通機関の活用も含めた通学手段の検討

※交通・防犯上の危険箇所などについて委員から指摘があった場所と内容は、**別紙1**「通学路に関する課題（各委員の意見一覧）」及び**別紙2**「通学路に関する課題（地図）」の通り。

##### ② 新しい学校の整備について

これから建設する学校は、先進的かつ快適な施設環境を備えるとともに、災害時の施設の安全確保について万全の対策が必要である。また、地域の防災拠点として重要な役割を担うことへの配慮が求められる。

〔課題〕

- ・全国的なモデルケースとなる施設の整備
- ・トイレの自動化など快適な生活環境を備えた施設の整備
- ・自然災害への対応を十分に配慮した施設の配置、周辺環境の整備
- ・地域の避難場所、避難所であることを踏まえた機能の整備

### ③ 計画の周知について

情報が不足すると事業計画への理解が深まらず、疑問や不安が生じてしまう要因となるため、地域への丁寧な説明が大切である。また、学校と地域の連携を深めていくために、学校の整備に保護者や地域の声を採り入れることが求められる。

〔課題〕

- ・ 地域の理解を得るための十分な市民説明
- ・ 計画の進捗状況の説明及び施設整備に向けた意見聴取の機会の設定

### ④ 防災対策・地域や人へのケアについて

学校は、地域の防災やまちづくりにおいて大きな役割を担っていることから、統合が地域に及ぼす影響について十分な対応、丁寧な説明が求められる。

〔課題〕

- ・ 公共施設配置の変更に合わせた地域防災計画の見直しと啓発
- ・ 跡地活用策の十分な検討と地域への丁寧な説明

### ⑤ 統合の際に配慮することについて

学校の統合による生徒の負担を軽減するため、統合に向けた取り組みの中で、様々な工夫を講じることが求められる。

〔課題〕

- ・ 学校生活や受験などに配慮した引越し時期の設定
- ・ 統合前の児童・生徒交流

### ⑥ その他

新たな学校の整備に向けては、様々な取り組みを検討することが求められる。

〔課題〕

- ・ 保護者や地域の有志の協力による引越しの実施など、地域との連携強化や経費削減の工夫

## 4 今後の進め方

検討会議の成果を引き継ぎ、学校の統合に向けて具体的な内容を検討するため、教職員や地域の組織から選出された委員で構成する（仮称）学校統合委員会を設置する予定です。

（仮称）学校統合委員会は、統合後の新校の名称、学校の運営、学校の施設、通学に関することなどの重要事項や、学校用品などの検討及びとりまとめを行う予定です。今回の学校統合地区検討会議を通して整理した課題などについては、この（仮称）学校統合委員会における検討事項として位置付け、実際の学校整備に向けて協議していきます。

また、検討会議でいただいた様々な意見は、市の関連部署で共有し、今後の施策を検討する上で参考とさせていただきます。

※現段階で想定する西武地区の中学校の統合と再整備に向けた取り組みのスケジュールは、**別紙3**「西武中学校建替えに向けたスケジュール（イメージ）」の通り。